



円滑な交通の実現にご協力をお願いします！

1 万博には多くの方が来場します！

[1日あたり 約**22.7万人/日**注1]

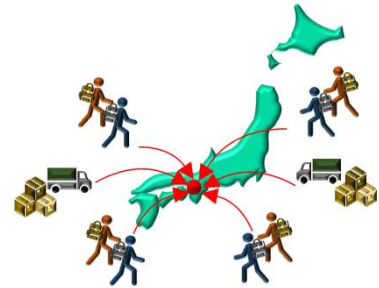
- 来場者による交通手段の利用内訳

[鉄道:約**12.4万人/日**注2] [道路:約**10.3万人/日**注3]

注1:日來場者数の上位1割平均

注2:Osaka Metro中央線を利用する来場者数

注3:駅シャトルバス等、自家用車等を利用する来場者数



→詳細はP.2,3へ

- それらに伴い、会場周辺や大阪市内等の主要駅周辺へ、**人流と物流の集中**が想定

2 何も取り組みを行わないと…

- 一部の**鉄道や道路**で来場者による**万博交通**と通勤や物流等の**一般交通**が1箇所へ集中し、**混雑の発生**が想定

例えば…



平日8時から10時台にOsaka Metro中央線の弁天町から朝潮橋間において、**混雑が約2倍に増加** [混雑率：(現在)約70% → (取組なし)約140%] 等

→詳細はP.4へ



平日8時台に阪神高速5号湾岸線の湾岸舞洲出口を先頭に天保山JCT方面へ、新たに**約1kmの渋滞が発生** [(現在)渋滞なし → (取組なし)通過に約5分所要] 等

→詳細はP.5へ

3 これらの交通混雑が企業活動等へ影響を与える可能性があります

鉄道の場合

<取組なし>

- 現在の出勤率を継続等

↓ 駅ホーム等の安全性や定期運行に支障等

利用したい時間の列車に乗れない等

<取組あり>

- **在宅勤務**等を推進し、移動量を削減等

↓ 駅ホーム等の安全性や定期運行が確保等

利用したい時間の列車に乗れる等

道路の場合

<取組なし>

- 混雑箇所を避けず経路を変更しない

↓ 既存の渋滞が悪化等

目的地への到着が遅れる等

<取組あり>

- **混雑区間**を避けた経路の変更等を推進等

↓ 既存の渋滞が悪化しない等

迂回により目的地への到着が遅れない等

これらのリスクを回避することで、**企業活動等への影響を最小限に抑制**

→詳細はP.6へ

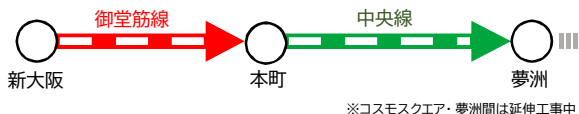
4 円滑な交通の実現に、企業の皆さまのご協力をお願いします！

(1)会場アクセス

- 万博会場への主要なアクセスルートは鉄道(Osaka Metro中央線)と道路(舞洲経由)です

1. 3つの主要ルート

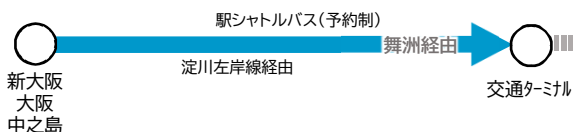
① Osaka Metro 中央線(鉄道)



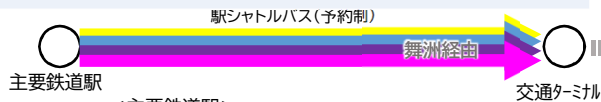
② JR桜島線(鉄道+駅シャトルバス)



③ 淀川左岸線(2期) (新大阪駅、大阪駅等発の駅シャトルバス)

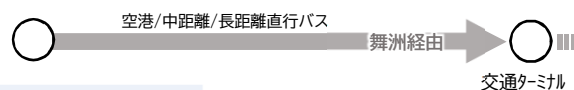


2. 主要鉄道ターミナルからの駅シャトルバス

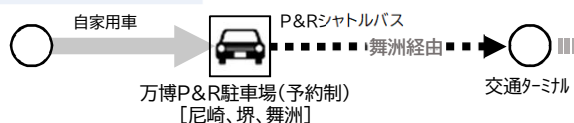


<主要鉄道駅>
難波、上本町、天王寺、堺、堺東、尼崎

3. 空港ターミナルからの直行バス 4. 中距離直行バス・長距離直行バス



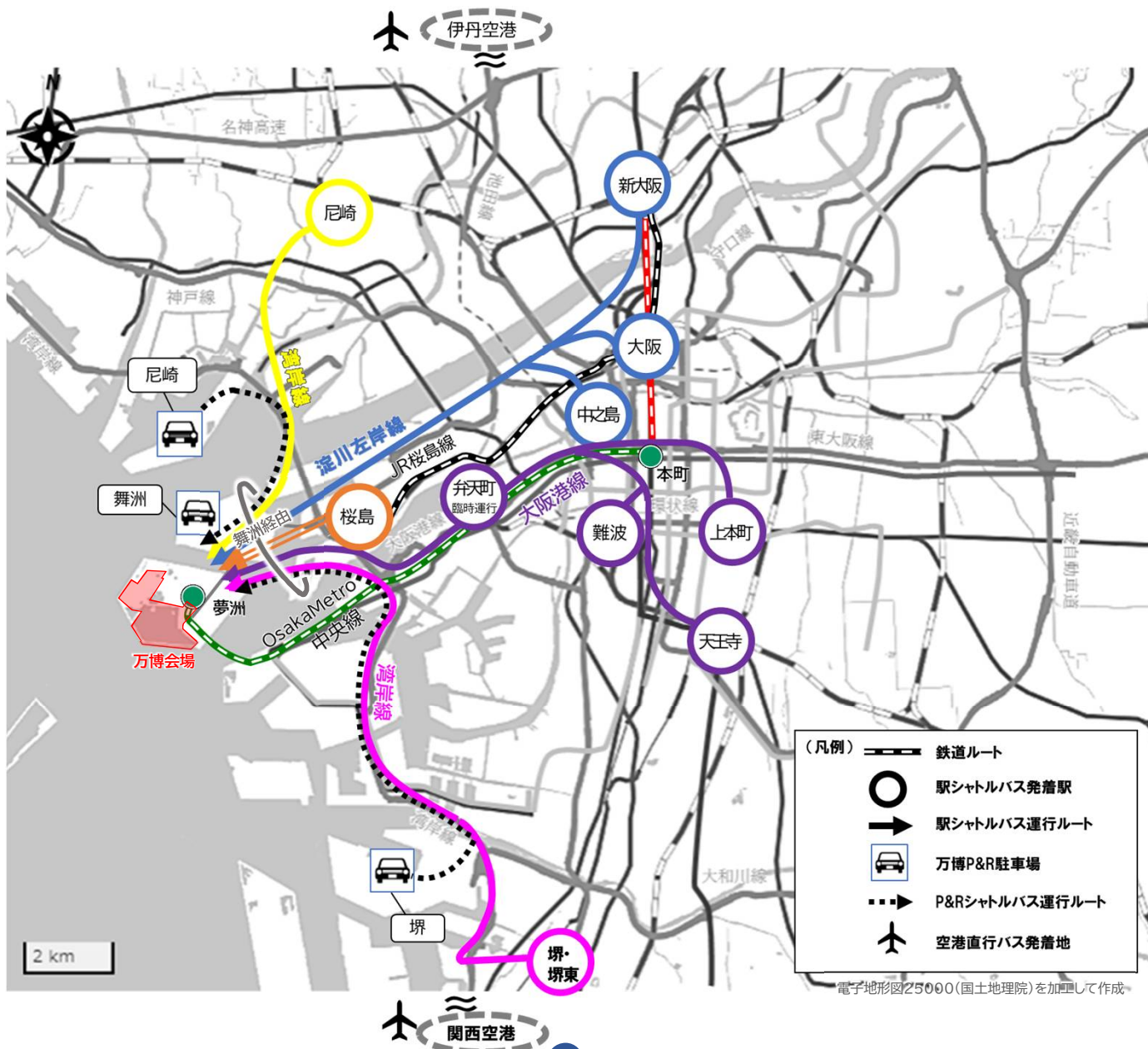
5. 自家用車利用



万博会場

万博会場

- 原則として電車・バスなどの公共交通機関の利用を呼びかけ
- やむを得ず自家用車を利用される場合は、万博P&R駐車場の利用を呼びかけ



(2) 会場の混雑予測

① 万博会期中における会場の混雑予測

- 開催期間は184日間(2025年4月13日～10月13日)です
- 会場が混雑する期間は、修学旅行シーズンの6月や駆け込み需要のある8月のお盆以降などと予測しています
- 特に会期終盤の10月の約2週間は非常に混雑すると予測しています

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計 上段:日数 下段:割合
	●開幕(4/13) GW				夏休	お盆 み	●敬老の日 ●秋分の日	
会場混雑								
非常に混雑 約20万人/日以上								8日 (7%)
混雑 約14万人/日以上								51日 (44%)
やや混雑 約14万人/日未満		※1		※2				56日 (49%)
							合計 上段:日数 下段:割合	115日 (100%)

※ 土日祝及びゴールデンウィークとお盆期間に相当する日数を除いた平日のみで整理

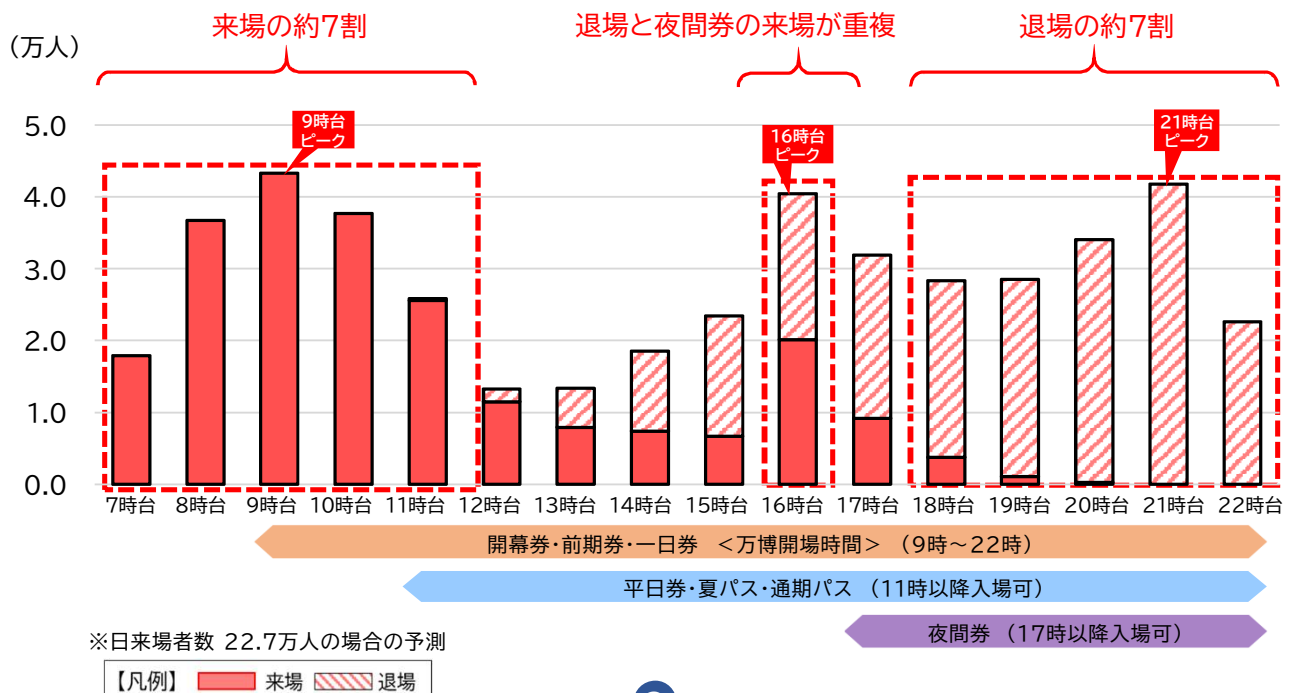
< 予測の考え方 >

※1 (開幕～5月) 会期前半は過去の万博傾向から、来場者が多くないと想定

※2 (7月～お盆) 修学旅行の需要が一段落し、暑い時期ということもあり、一般の来場者需要も減少すると想定

② 1日の時間別の来退場の予測

- 来場は午前中に約7割、退場は18時以降に約7割と予測しています
- 夕方16時には、退場と夜間券の来場が重なるピークの発生を予測しています



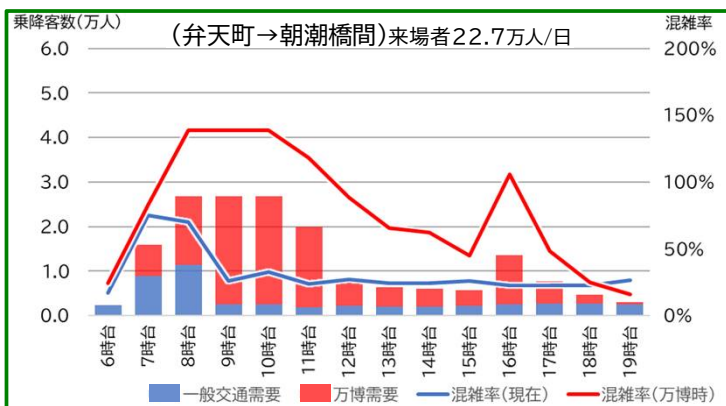
(3) 想定される主な混雑 < 鉄道・来場方向 >

退場方向の予測は来場者輸送具体方針(アクションプラン)第3版に掲載

- Osaka Metro 中央線・御堂筋線に万博交通の集中が予想されます
- このうち、Osaka Metro 中央線(弁天町～コスモスクエア間)は、来場者が20万人を超える日において、平日朝ピーク時に大変混雑すると予測しています



① Osaka Metro 中央線の混雑予測



◆ 朝ピーク時の混雑率

約70%(現在)

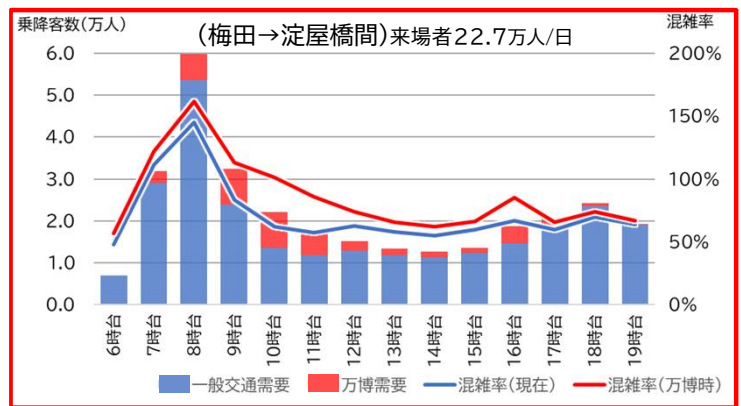
ピーク時16本/時間

何も取組まない場合

140%(万博時)

ピーク時 24本/時間 に増便

② Osaka Metro 御堂筋線の混雑予測



◆ 朝ピーク時の混雑率

約140%(現在)

ピーク時27本/時間

何も取組まない場合

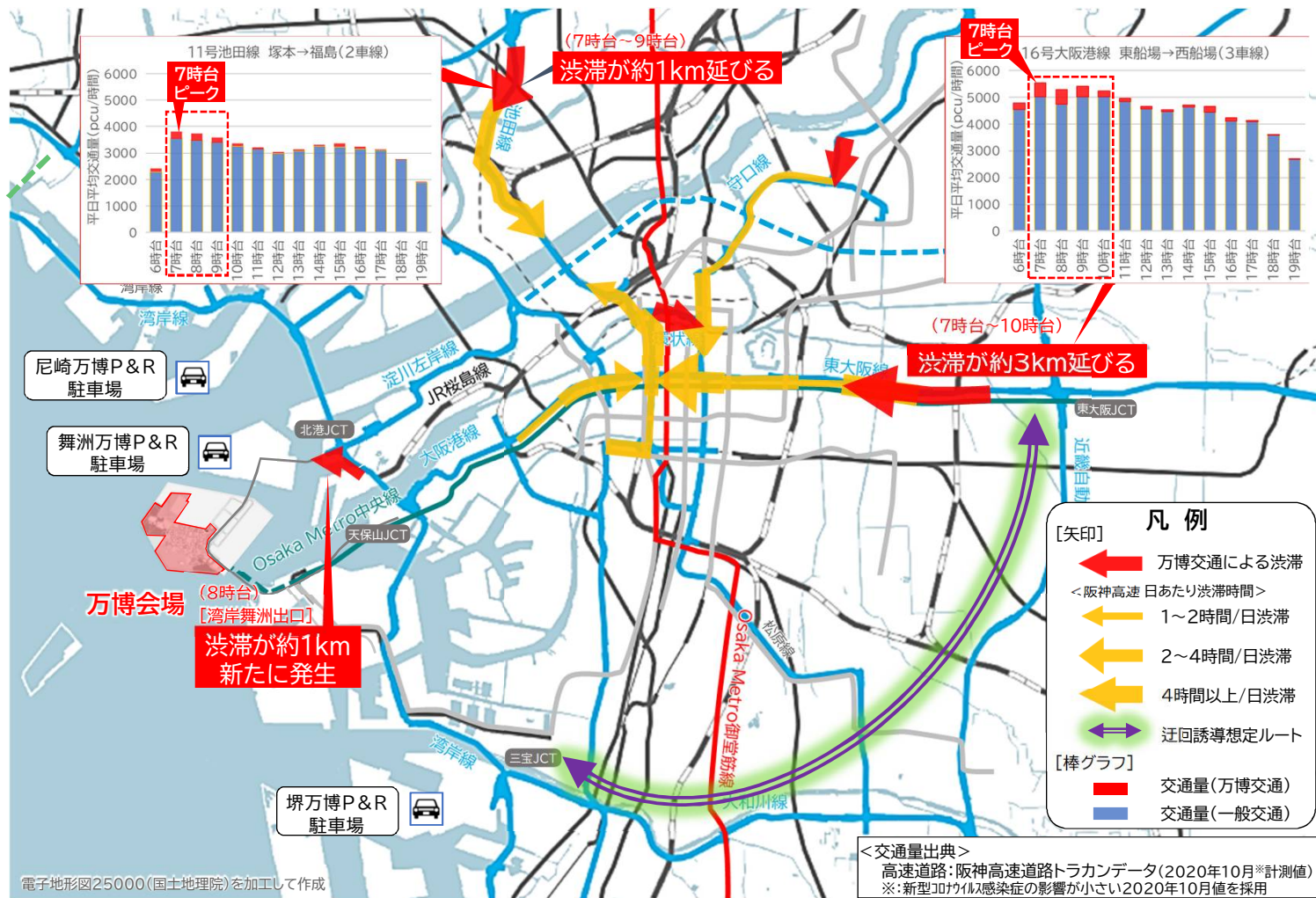
160%(万博時)

※Osaka Metroより2019年データ提供、博覧会協会で推計

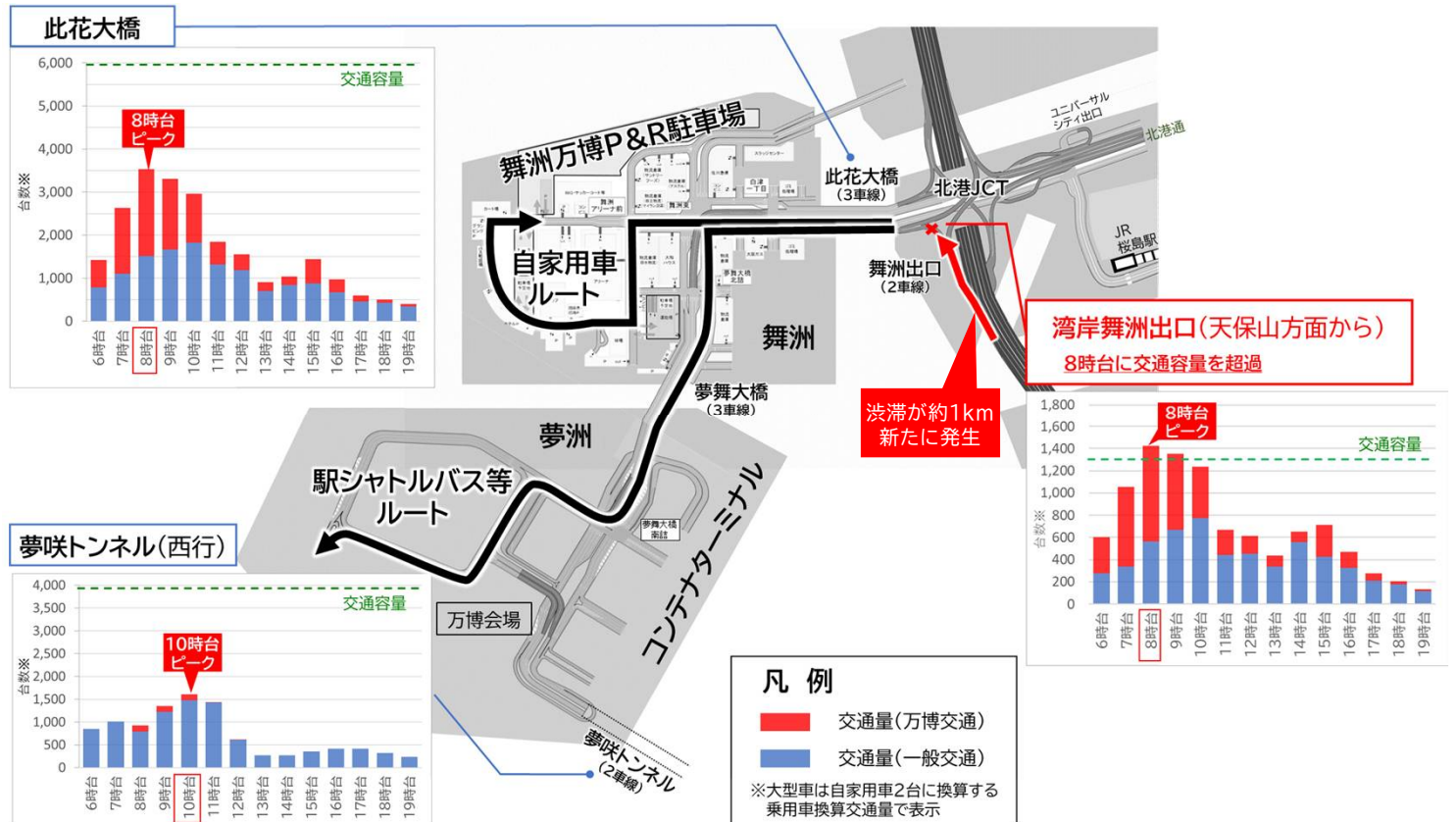
(4) 想定される主な混雑 <道路・来場方向>

退場方向の予測は来場者輸送具体方針(アクションプラン)第3版に掲載

- 阪神高速道路池田線、東大阪線や湾岸舞洲出口は、午前を中心に交通量が増加し、現在より**渋滞の増加**が予測されます(平日朝)



- 湾岸舞洲出口~会場までの一般道路は午前を中心に**駅シャトルバス等**や**自家用車等**が増加します



(5)企業の皆さまにご協力頂きたいこと [交通円滑化に向けた取組]

①移動量・配送量を削減



在宅勤務

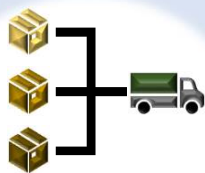
<目的>

万博会場が混雑する期間*に、会場周辺等で、移動量等を削減する取組により、鉄道や道路での交通混雑を緩和

*P.3を参照

<主な取組メニュー>

- テレワーク
- 在宅勤務
- オンライン会議の推進
- 共同配送
- イベント開催場所・時期の変更 等



まとめて納品

②オフピーク時期・時間帯へ変更



時差出勤

<目的>

万博会場が混雑する期間や来退場のピーク時間帯*を避けた取組により、鉄道や道路での交通混雑を緩和

*P.3を参照

<主な取組メニュー>

- 時差出勤
- フレックスタイム
- 商談・打合せ時間の調整
- リードタイム(納品時期・時間)の変更
- 配送時間の変更 等



納品時期の変更

③混雑を避けた場所・ルートへ変更



迂回通勤 等

<目的>

Osaka Metro中央線や阪神高速道路等の混雑区間*を避けた取組により、鉄道や道路での交通混雑を緩和

*P.4及びP.5を参照

<主な取組メニュー>

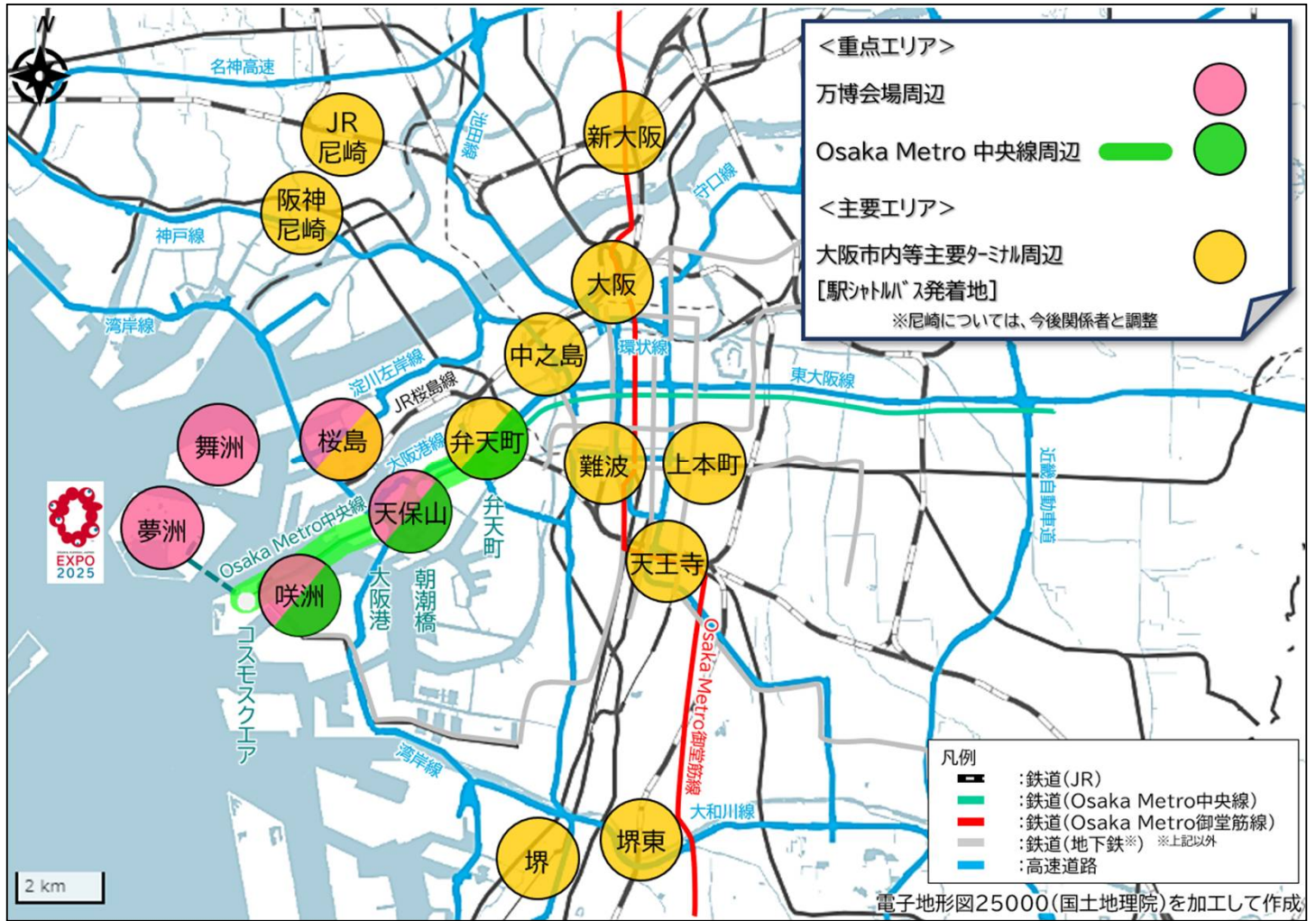
- 通勤経路の変更(混雑区間を迂回)
- 配送経路の変更
- 影響の低いエリアにある倉庫の活用 等



配送ルートの変更

(6) エリアや期間によるメリハリ付け（交通円滑化推進会議による取組）

- 来場者等により、**人流・物流が集中し、混雑が予想される会場周辺、駅シャトルバス発着地周辺地域**等のエリアについて、**重点エリア・主要エリア**と位置づけ、メリハリを付けた取組を実施



- 重点エリア・主要エリア等のエリアの特性に応じた、ご協力の呼びかけを実施

エリアの区分	目的	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
		●開幕(4/13) GW				お盆 夏休み	●敬老の日 ●秋分の日	●閉幕(10/13)
重点 エリア	万博会場周辺		→	→	→	→	→	→
	Osaka Metro 中央線周辺		→	→	→	→	→	→
主要 エリア	大阪市内 主要ターミナル周辺			→			→	→
	その他エリア (大阪府全域を目安)			→			→	→

凡例 **→** 強く呼びかける **→** 呼びかける **→** 準備呼びかけ

- エリアに応じた呼びかけの内容については、今後の企業ヒアリング等を通じて、現実的な具体策を検討

「万博TDMパートナー」の登録をご検討ください！

ご登録いただいた方々には、**万博期間中の交通情報**や
他の登録企業の取組事例を、メールマガジン等にて
ご提供させていただく仕組みを作成しているところです。

(2月中を目途に開始を予定しておりますので、改めてご案内させていただきます。)

万博TDMパートナーとは

「2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議」で呼びかける、万博期間中の円滑な**万博来場者輸送と都市活動の両立**をめざすため、一般交通の抑制や分散、平準化の取組にご協力していただく企業の皆さまです。

- TDM(Transportation Demand Management:交通需要マネジメント)
鉄道や道路利用者による交通発生源の調整や時間・経路の変更など、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を行うことにより、交通混雑を緩和していく取組をいいます。

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議

会長	大阪府知事
会長代行	大阪市長
副会長	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 事務総長
委員	公益社団法人関西経済連合会 会長 大阪商工会議所 会頭 一般社団法人関西経済同友会 代表幹事
協力委員	経済産業省 近畿経済産業局長 国土交通省 近畿地方整備局長 国土交通省 近畿運輸局長 関西鉄道協会 会長 近畿バス団体協議会 会長



お問い合わせ先 [事務局]

○交通円滑化・TDMの推進及び「万博TDMパートナー」に関すること

大阪府・大阪市万博推進局整備調整部

TEL 06-6690-7731

受付時間:月曜日から金曜日(祝日を除く)9:00から18:00

※「2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議」https://www.pref.osaka.lg.jp/bampaku_suishin/2025kotsuenkatuka/index.html#!



○万博交通アクセスに関すること及び交通円滑化・TDMの推進に関すること

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会交通局交通部

TEL 0570-200-066

受付時間:月曜日から金曜日(祝日を除く)9:00から17:00

※「大阪・関西万博 来場者輸送具体方針(アクションプラン)第3版」<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20231120-06/>

